

# 十勝連峰の秀峰 2 座にそれぞれ日帰りで登頂

催行決定

## 花の富良野岳・展望の美瑛岳



この時期、美瑛岳登山道で群落が見られるエゾオヤマノリンドウ

**日程** 8月16日(火)～8月18日(木)

**旅行代金** お一人様 **56,000 円** 白金温泉集合・解散

**集合** 8月16日(火) 午後5時までにホテルへお越し下さい

**解散** 8月18日(木) 午後4時頃予定/下山後、白金温泉  
(または十勝岳温泉)にて解散となります

- 食事/朝2・昼0・夕2 ●4名様より催行決定 ●白金温泉より全行程ツアーリーダー同行
- 宿泊/大雪山白金観光ホテル、湯元白金温泉ホテルなど(または同等クラス) 2～4名1室
- ※お一人部屋希望の方は16,000円(2泊分)追加料金がかかります

### 暫定行程表

日	地名	行程	食事
8/16 (火)	白金温泉	遅くとも <b>17:00</b> までに宿泊する <b>白金温泉</b> のホテルにお越し下さい。 ツアーリーダーがホテルにてお待ちしております。 ※白金温泉にはコンビニやスーパーはありませんので、2日目、3日目の登山中の昼食、行動食は事前にご用意下さい。行動水やお湯はホテルで用意できます(飲み物の自販機があります)。 【白金温泉・泊】	— — 夕
8/17 (水)	白金温泉 望岳台 美瑛岳 望岳台 白金温泉	■美瑛岳登山 ●歩程:約12km/約8時間 出発が早いので朝食はお弁当になります。各自、お部屋でお召し上がり下さい。 <b>6:00</b> 頃、ホテルを出発。送迎車または専用車で <b>望岳台</b> へ。ここから登山開始。 白金温泉＝望岳台・・・雲ノ平分岐( <b>エゾオヤマノリンドウ</b> が見頃)・・・ <b>美瑛岳</b> (2,052m/好天なら <b>トムラウシ</b> 方面の大展望)・・・往路下山・・・望岳台( <b>15:30</b> 頃予定)＝白金温泉 【白金温泉・泊】	朝 — 夕
8/18 (木)	白金温泉 十勝岳温泉 富良野岳 かみふらの岳 十勝岳温泉 白金温泉	■富良野岳登山 ●歩程:約13km/約8時間 出発が早いので朝食はお弁当になります。各自、お部屋でお召し上がり下さい。 <b>6:00</b> 頃、ホテルを出発。送迎車または専用車で <b>十勝岳温泉</b> へ。ここから登山開始。 白金温泉＝十勝岳温泉・・・上木口分岐・・・ <b>富良野岳</b> (1,912m)・・・三峰山(1,866m)・・・ <b>かみふらの岳</b> (1,893m/時間に余裕があれば <b>上木口カメットク山</b> を往復)・・・上木口分岐・・・十勝岳温泉( <b>15:30</b> 頃/希望者はここで解散)＝白金温泉( <b>16:00</b> 頃/解散) ※下山後の温泉入浴は各自	朝 — —

※交通 =車での移動 ...徒歩にて登山

※歩程は休憩時間を除いた実質歩行時間の目安です。当日の天候、登山道の状況、皆様の歩くペースなどにより前後しますので、あらかじめご了承ください。

※昼食、行動食、行動水は各自となります。登山中に手軽に摂れるものをご用意し、携行して下さい。なおホテルでおにぎり弁当の注文も可能です(770円/要事前予約。ご希望の方は3日くらい前までにお申し付け下さい)。

※天候やご参加者のコンディションなどにより、2日目・美瑛岳と3日目・富良野岳を入れ替える場合があります。

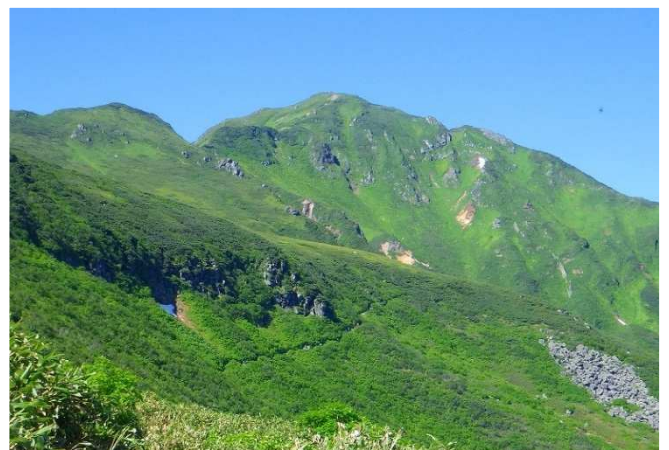
※天候や時間によってはコースを割愛、エスケープする場合があります。あらかじめご了承ください。

※下山後の温泉は各自払いをお願いします。白金温泉の各ホテル

ほか、十勝岳温泉(凌雲閣、カミ木口荘)吹上温泉(白銀荘)など日帰り入浴のできる温泉宿がたくさんあります。



美瑛岳山頂から十勝岳を望む



上木口分岐から見渡す富良野岳の雄姿

## 富良野岳・美瑛岳登山 持ち物リスト

	品名	数量	チェック	備考
1	登山用シューズ	1組	○	靴底のしっかりしたもの。防水性の良いゴアテックスや皮革製の軽登山靴など。履き慣れたものを使用して下さい。
2	タウンシューズ	1組	△	移動時や下山後の履き替え用に。運動靴やスニーカーなど。
3	旅行かばん(小～中)	1個	○	飛行機や宿に預ける荷物入れ用。バッグやスーツケースでも良い。
4	登山用ザック	1個	○	登山時に背負うザック。目安は容量25～35ℓ程度の日帰り用。機内持ち込み兼用にしても良いでしょう。
5	雨具(上下)	1着	○	しっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型が良いでしょう。防寒着としても活用します。
6	防寒着(フリースやダウンなど)	敵数	○	標高2,000m近い北海道の山の稜線は夏でも太陽が陰ると寒くなります。また風が強いとかなり冷えます。軽くて乾きの早いフリースジャケット、ダウンジャケットなどを必ずご用意ください。
7	衣類(着替え)	適数	○	長袖シャツ、半袖シャツ、スラックス、肌着、靴下など。
8	帽子(日除け用・防寒用)	1個	○	強い日差しを遮るため、つばのある帽子が良いでしょう。耳を覆う防寒用の帽子も悪天候対策としてご用意下さい。
9	手袋類(厚手・薄手)	敵数	○	薄手と少し厚手のもの、また、雨天時に使用する防水性のあるものなど、数タイプあると良いでしょう。
10	サングラス	1個	○	強い紫外線から、目を保護するために必携と言えます。
11	水筒・テルモス	1個	○	容量1～2ℓ程度。ペットボトルでも可。お盆を過ぎると北海道の山は初秋の気候で冷え込む日も多く、温かい飲み物も必要となります。温かい飲み物は必須。テルモスはできるだけお持ち下さい。
12	洗面用具	適数	○	浴衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊する温泉ホテルのアメニティとして付いています。
13	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
14	お財布・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは有ると便利です。保管に気をつけましょう。
15	ヘッドライト・笛	各1	○	登山には必携。ヘッドライト用の予備電池も必ずお持ち下さい。
16	ロールペーパー	適量	○	トイレ用など、何かと使います。
17	携帯トイレ	2個	○	北海道の山では必携です。
18	スパッツ	1組	△	ぬかるみ対策用にあると便利でしょう。防寒用としても使えます。
19	熊除け鈴	1個	△	この時期、2座とも登山者は比較的多いですが、念のため付けると良いでしょう。
20	折り畳み傘	1本	△	街中用に。登山道は傘をさして歩くことは禁止です。
21	日焼け止め	適数	△	強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
22	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はあれば安心。伸縮式が便利です。ダブルストックがよりおすすめです。
23	医薬品	適数	△	持病用の特別な薬などあれば、各自ご用意下さい。
24	ザックカバー	1枚	△	ザックの防水用レインカバー。登山中の急な降雨に備えて。
25	カメラ・携帯電話	適数	△	予備電池、充電バッテリーも忘れずに。
26	行動食・嗜好品(2日分)	適数	○	白金温泉にはスーパーやコンビニは無いので、普段愛用している行動食・嗜好品などがあれば事前にご用意下さい。

※上記のリストはあくまで参考として御利用下さい。 ○：必要なもの △：あると便利なもの